

藤原氏北家の台頭

北家の藤原冬嗣は嵯峨天皇の信頼が厚く、秘書官とも言える蔵人頭に任命されて「葉子の変」で活躍した。嵯峨の冬嗣に対する信頼は、嵯峨の子と冬嗣の娘が結婚したことから分かる。冬嗣以降、北家の者たちは娘を次々と天皇に嫁がせ、権力を強めていった。また、政敵の排除にも努め、969年には不動の地位を確立した。

○強まる北家の権勢

●藤原氏の戦略—外戚と外祖父

古代の貴族社会では、子は母方で育てられた。

→母方の親戚⁽¹⁾ _____、とりわけ母方の祖父⁽²⁾ _____ は子に強い発言力を持った。

⇒藤原氏北家の者は娘を天皇に嫁がせ、皇子に対する発言力を得た。

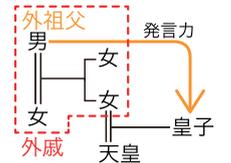


図1 外戚と外祖父

●大出世とライバル排除

藤原冬嗣の子⁽³⁾ _____ は、娘を天皇に嫁がせて勢力をのぼした。

<良房の出世>

858年、成人が即位するという慣例を破り、幼少の⁽⁴⁾ _____ が即位すると、外祖父の良房は、天皇に代わって政務を担当する⁽⁵⁾ _____ に事実上なった。

◇(5) …従来皇族が就く職で、事実上ではあるが良房は臣下として初

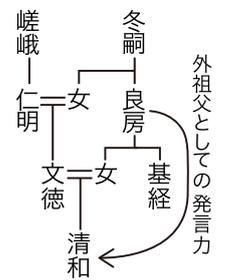


図2 良房と清和

<良房のライバル排除>

842年、⁽⁶⁾ _____ …謀反の疑いで、三筆の⁽⁷⁾ _____ が排除された事件

866年、⁽⁸⁾ _____ …⁽⁹⁾ _____ が応天門の放火を手引きして、⁽¹⁰⁾ _____ に罪を着せたことが露見し、排除された事件

◇2つの事件は良房の陰謀とされるが、(8)は真相不明



図3 応天門

●職名の解釈と波乱

藤原良房の後を継いだのは、養子の⁽¹¹⁾ _____ であった。

→(11)は陽成天皇を譲位させ、⁽¹²⁾ _____ を擁立して即位させた。

⇒擁立に報いるため、884年、(12)は(11)を補佐役(事実上の⁽¹³⁾ _____)にした。

◇(13) …成人後の天皇の補佐役で、884年の時点では職名なし

(12)の子⁽¹⁴⁾ _____ 天皇は、父同様に(11)を待遇しようとした。

→(14)は、(11)が勤めた補佐役に、「阿衡」という職名を付けて(11)を再任した。

⇒「阿衡」の解釈をめぐり、888年、⁽¹⁵⁾ _____ と呼ばれる抗争が生じた。

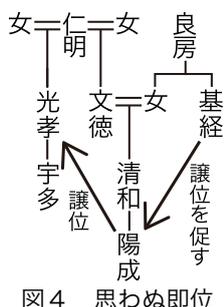


図4 思わぬ即位

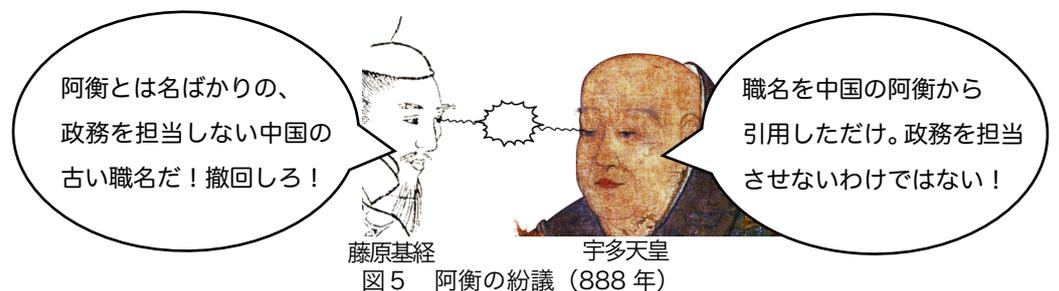


図5 阿衡の紛議(888年)

●職名「関白」

888年、宇多天皇は補佐役の職名を関白と改め、藤原基経を任命した。

◇関白…^{りょうげのかん}令外官の1つで、職名は「天皇への意見を^{あずか}関り^{もう}白す」の意

○不動の北家勢力

●親政と摂政関白の常置

藤原基経の死後、藤原氏を外戚としない宇多天皇は摂政・関白を置かなかった。

⇒宇多は学者⁽¹⁶⁾ _____ を重用して政務に取り組んだ。

◇「阿衡の紛議」時、(16)は基経を^{いさ}諫めたので宇多の信頼を獲得

◇(16)…^{りつこくし}六国史の分類・再編をおこない、『^{るいじゆ}類聚国史』を編纂



宇多の子⁽¹⁷⁾ _____ 天皇の御代、(16)は⁽¹⁸⁾ _____ の策謀で失脚し、

⁽¹⁹⁾ _____ に左遷されて失意のうちに死去したため、**北野神社**に^{まつ}祀られた。

⇒その後、(17)は親政をおこなった。

◇親政…摂政・関白を置かずに天皇自身が政治をおこなうこと



(17)の子⁽²⁰⁾ _____ 天皇も親政をおこなった。

◇(17)と(20)の間、朱雀天皇のもとで⁽²¹⁾ _____ が摂政・関白に就任

◇(21)…早世した時平の弟で、時平の立場を継承



969年、⁽²²⁾ _____ で⁽²³⁾ _____ が左遷された。

→藤原氏北家の勢力を阻止できる人物が消え、以降摂政・関白が常置された。

⇒摂政・関白が常置された10世紀後半～11世紀の政治を⁽²⁴⁾ _____ と呼ぶ。

◇北家のなかでも、特に摂政・関白を出す家柄は⁽²⁵⁾ _____ と区別



図7 雷神と対峙する藤原時平

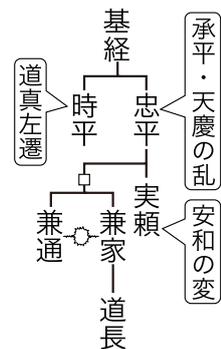


図8 系図(枠内:出来事)

●醍醐天皇と村上天皇の時代

醍醐天皇と村上天皇は、摂政・関白を置かずに親政をおこなった。

→藤原氏との協調が比較的保たれ、後世には理想の政治とされた。

⇒2人の天皇が治めた時代は、元号に基づき⁽²⁶⁾ _____ と呼ばれる。

<醍醐天皇の事業>

- ①⁽²⁷⁾ _____ 発令 (902年)
- ②『⁽²⁹⁾ _____ 』完成 (六国史の最後)
- ③『⁽³⁰⁾ _____ 』編纂命令 (八代集の最初)

<村上天皇の事業>

- ①⁽²⁸⁾ _____ 発行 (本朝十二銭の最後)

●内部争いの終結

摂関家の内部では摂政・関白の地位をめぐり、次の2件のような争いがあった。

①兄藤原兼通^{かねみち}と弟藤原兼家^{かねいえ}の争い

②叔父⁽³¹⁾ _____ と甥藤原伊周^{これちか}の争い

→勝利した(31)は、4人の娘を天皇^{じゅだい}に入内させ、約30年間権勢をふるった。

⇒(31)の子⁽³²⁾ _____ は3人の天皇の摂政・関白になった。



図9 藤原伊周